

八月十日(土)

## 八月山行・月山



発行所  
二本松市木ノ板坂  
あだたら山の会  
編集部

報告 □□□ □

つたが、記録よりも記憶に残るものとなり、貴重な体験をさせていただいた。  
▼当日夕方 □□□□□  
事福島に帰って来た、とのメール戴きました(編集部)。まだ、十一時手前ではあるから、午後五時過ぎに無事福島に帰って来た、とのオーンで確認すると月山付近は、終日、悪化とのこと。

後の大気予報をスマートフォンで確認すると月山付近は、終日、悪化とのこと。まだ、十一時手前ではあるから、午後五時過ぎに無事福島に帰って来た、とのメール戴きました(編集部)。

八月十日は月山に行くことになった。五時三十五分、道の駅安達下り線にて□□道と合流、五時五十八分、□□□□さん、□□□□□さんと合流、五時五十八分、□□□□□さん、□□□□□さんと合流、五時五十八分、□□□□□さん、□□□□□さんと合流し、山行メンバーが問題なく、集合となり、六時に無事出発した。六時三十五分に東北中央道高速道路に上り、山形自動車道を直進り続けて一時間半後、途中のパーキングエリアにて朝食と同時に休憩をとる。その後、山形自動車道を直進し、寒河江、月山方面の国道一一号を通過、県道一四号に入り、八時五十五分に月山の姥沢駐車場に到着。当日の月山付近の天気予報。それは晴天ではなく、気温もさほど高くなく、降水確率は低いと予想されていたので平和な山行になると思っていた。実際に着いてからは、涼しく気持ちよい風に癒されていました。九時十五分、リフトに乗りました。今は、参考記録としては残すことができなか



お土産に戴いた山形のサイダー



HP庄内観光サイトから

●編集部連絡先  
二本松市郭内1-5-5  
0243(22)4245  
渡辺 正

八月四日(日)

県山岳連盟  
山の日記念清掃登山  
猫魔ヶ岳

報告  
編集部



下山後 全員集合 当会メンバー全員

今年の福島県山岳連盟(□□□□会長)の「山の日記念清掃登山」は、磐梯山の西側、「ニッコウキスゲ」で有名な「雄国沼」からデラの外輪山である、猫魔ヶ岳で四日(日)開催された。午前七時半、八方台登山口集合、猫魔ヶ岳を往復する予定。今年の夏猛烈な暑さが続く中、標高一二〇〇メートルの登山口は些か涼しい。登山道は大部分

ゴミは軽トラ荷台四分の一程度だった。県山岳連盟の会員など、合わせて三十人が参加した。



出発時の集合写真、八方台登山口

八月二十五日(日)

## 笠山下登山道整備作業

報告編集部



参加者勢揃い、勢至平分岐、14時半



土手の上を刈払い



ハンノキ林で作業中

▼今回、事情があつて奥岳出発が遅れてしまった。資材を準備していた事務局が余分な写真撮影やつて、路外に車落として、奥岳の集合时刻に到着出来なかつた。済みませんでした。



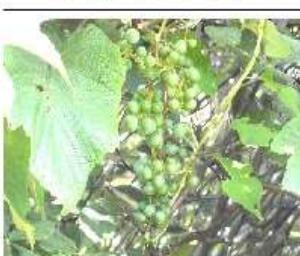
ヤマハハコ

台風一過を期待し、天気も午前中は時々雨も風も吹き、温度下がり半そででは寒いくらい、福島の三十五℃は山では考えられない。



アキノキリンソウ

十時二十分、東吾妻山頂どストン十五時下山の登山届けを出し、入山する。登山道から見る「大穴火口」蒸氣が吹き廻りは黄色の岩が



ヤマブドウ



2019/08/17

## 台風一過の東吾妻山

報告□□□□

八月十七日(土)

見え、大穴火口の上にも新しく出来た火口から蒸氣を噴いている所があり、黄色い岩も確認することが出来る。姥ヶ原木道に入つても時々雨風、半そででは寒さイボが出来そうだ。  
雨風を避けるため姥地蔵まで足を伸ばす。昼食を始めた頃は青空も見え風も弱くなり東吾妻の山頂も見えるようになる。姥ヶ原分水界より東吾妻へ。登山道は笹が被りお盆前に刈払いした様だが、まだ被つている所もある。東吾妻山頂へ。登山道は三時前に着く。山頂では三ヶ月グループの登山者が吾妻連峰の山々眼下に谷地平磐梯山などの眺望を楽しんでいた。二時二十分下山開始、淨土平四時、予定時間より一時間遅の下山となつた。

淨土平駐車場は有料で五百円、鎌沼から酸ヶ平小屋へは通行止め。鎌沼の水も少なく、淨土平の川も流れない。姥ヶ原では、リンゴが咲き始めていた。

